

東北新聞

本紙一ヶ月三十三日発行
中野町一丁目三番地
電話二二二二番
石井 孝
印刷部 電話二二二二番
石井 孝
電話二二二二番

社説
平町役場の刷新と、改造とは数年來の輿論である。その輿論を無視して今日に到るも何等の處置に出でないことは奇怪千萬である。

商港完成後の小名濱に 商船程度の海員養成所 是非實現さしたいと 同町有志等寄々協議

最近數ヶ年間に於ける本縣各船に二名乙種商船學校法を施行する事となつた。漁業界は長足の進歩を遂げ、漁船は例も大型に改造され、その設備等に就ても漸く完全なものとなつて来たが更に今年からは一步進んで遠洋漁業船にはラヂオ器まで据付けられる程であるが遠洋航海術は依然として舊習のまゝで、即ち實際によつて海の場合を記憶して居りこの記憶をたゞつて遠洋漁業に出かけ、全く最近の管理應用の最新機械を用ひて航海すると云ふ様なことはないため航海日数を始め總ての點に於て非常な不經濟を來して居るばかりでなく一度不馴れの漁場に出航した場合の如きは大なる危険が伴ふので水産試験場では本縣漁業發達に依る經濟と遠洋漁業の安全とをはかるため

平町の 臨時清潔法

過般の水害で著るしい床上浸水を見た平町東部の月見町、鎌田町、立町に對し平町では来る十八日臨時清潔

蕪市況

蕪市場の十四日の取引
四、蕪市場の十四日の取引
總貫数は白貫取ませ千九貫であつたが取引相場は左の如し
▲(白)高八五六〇、安六八〇
▲(黄)高七五五〇、安六〇〇
五〇、ナシ七二五〇

鎌田橋の架替 愈々十七日に着工

幅員も現在より三尺廣く
一、二間半となる
平町より石城郡神谷村に通ずる國道の夏井川に架してある木橋は腐朽甚しき爲め平土木監督所では縣に對し屢々架替工事の認可申請中であつたが此の程漸く認可されたので愈々十七日より總費三千七百餘圓を以て橋脚の残し全部架替へる事となつた今度の工事による巾員十三尺であつたものが十六尺となるので平四倉間の頻繁なる客貨物自動車の往來には非常な便利を與へるものと見られてゐる

農事分場の 遅れる

農事試験場石城分場の田植は来る十八日の兩日執行するものと見られてゐる

本社を相手取つた 荒川銀治氏の名譽云々は 果して是? 非?

公平なる司直の裁斷をまつ
平町長橋町居住土木請負業名譽毀損の告訴を提起した荒川銀治氏は本社署名人がその理由とする處は去る相手取り此の程中検事局に五日夕刊六日附の本紙で

突如平署大活動 昨夜嚴重取調ぶ

長橋の某氏を召喚して
住荒川某を午後九時頃召をキ損したのであると云ふ
喚秘密裡に取調中であるが本紙署名人は取敢へず今

水鐵軍と

平の野球試合
明十六日正午よりオール平では水鐵野球軍を迎へ聲中球場に於て決戦する事となつたが水鐵軍は猛者だけに大接戦を演ずるものと見られてゐる

水鐵軍と

不幸だえ残りの六十九本は新妓さんが請負つたのかねそれでは新妓さんも不平だらう局のクトさんに半分も手傳つて貰つたらどうですかね(新妓同情生)▲片濱方面から通學されてゐる某女學校の學生さん江名平間の定期有聲座割引券有り
白銀町 丸山雜貨店

東日片々

兩兔を追ふて、兩兔を捕へた例を片々子は未だ耳にせず!
荒川銀治氏の態度果して是なりや?
親分は親分らしく、才子は才子らしくにあらざれば之れ愚なり合掌!

練習生の 花賣

今晩三丁目角で農事試験場石城分場練習生間に計画された切花類の實地販賣は愈々毎週土曜日に平町三丁目廣場で催す事となりその第一回を今十五日催すが非常な好成績を豫想されてゐる

丸昇軒

西洋料理 丸昇軒
電話四三九番

